

乳腺・総合外科

1. スタッフ（平成22年4月1日現在）

科 長（准 教 授）	穂積 康夫
外来医長（助 教）	竹原めぐみ
病棟医長（5B）（学内講師）	宮倉 安幸
医 員（助 教）	竹原めぐみ
（病院助教）	大澤 英之
（病院助教）	尾本 和
（病院助教）	塩澤 幹雄
（非常勤医員）	水沼 洋文
（非常勤医員）	吉澤 浩次

2. 診療科の特徴

大学附属病院では、数少ない乳癌・内分泌外科の専門診療科として、県内はもとより茨城、埼玉、群馬からの患者も多く、北関東では有数の症例数を誇る。診療においては、放射線科、臨床検査医学の協力で、質の高い診断を行っている。手術では、乳房温存が不可能な場合、希望により、形成外科の協力の元、乳房再建術を行っている。治療では、世界標準治療を行うことを原則とし、さらに新たな標準治療の確立のため、国内外の乳癌専門施設と共同で多くの臨床試験、治験を積極的に行っている。化学療法の大半は外来通院治療で行っている。

診療内容

1. 乳腺：乳房温存手術、胸筋温存乳房切除、センチネルリンパ節生検、乳房再建、化学療法（術前術後療法・進行再発-AC、EC、FEC、TC、TAC、Taxan、CMF、ハーセプチン、ナベルピン、カペシタピン、TS-1、ラパチニブ、ジェムザール）、内分泌療法（LH-RHアナログ、SEAMs、AIs）
2. 甲状腺・副甲状腺：バセドウ病、線腫様甲状腺腫、腺腫、癌（全摘、亜全摘）、甲状腺良性腫瘍、副甲状腺腫瘍に対して鏡視下手術。
3. 副腎：良性腫瘍は原則として腹腔鏡手術または後腹膜鏡下手術。

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1 新来患者数・再来患者数・紹介率

外来患者総数	11,764人
新来患者数	795人
再来患者数	10,969人
紹介率	63.1%

2 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
甲状腺癌	3
その他の甲状腺疾患	0
副甲状腺疾患	2
乳癌	273
その他の乳腺疾患	17
合 計	295

3-1 手術症例病名別件数

病 名	人 数
甲状腺切除術（鏡視下含む）	3
副甲状腺摘出術（鏡視下含む）	2
その他の甲状腺・副甲状腺手術	0
乳房温存術・乳腺部分切除術	136
乳腺摘出術・乳房切除術	82
その他の乳腺・甲状腺手術	12
合 計	235

3-2 手術術式別件数・術後合併症件数

	症 例 数	合併症件数	再手術症例数
甲状腺切除術（鏡視下含む）	3		
副甲状腺摘出術（鏡視下含む）	2		
その他の甲状腺・副甲状腺手術	0		
乳房温存術・乳腺部分切除術	136	1	
乳腺摘出術・乳房切除術	82		
その他の乳腺・甲状腺手術	12		
センチネルリンパ節生検（重複あり）	162		
合 計	235	1	0

4 化学療法症例・数（入院）

乳癌	10件（入院）
	180件（外来）

化学療法プロトコール

①乳癌	
1	アドリアシン（ドキソルビシン） エンドキサン（シクロフォスファミド）
2	ファルモルビシン（エピルビシン） エンドキサン（シクロフォスファミド）
3	ファルモルビシン（エピルビシン） エンドキサン（シクロフォスファミド） 5-FU（fluorouracil）

4	タキソテール (ドセタキセル) エンドキサン (シクロフォスファミド)
5	タキソテール (ドセタキセル) アドリアシン (ドキソルビシン) エンドキサン (シクロフォスファミド)
6	タキソテール (ドセタキセル)
7	タキソール (パクリタキセル)
8	メトソトレキセート 5-FU (fluorouracil) エンドキサン (シクロフォスファミド)
9	ジェムザール (ゲムシタビン)
10	ナベルピン (ピノレルピン)
11	ハーセプチン (トラスツマブ)
12	タイケルブ (ラパチニブ)

マンモグラフィ	3,200件
マンモトーム生検	50件
コアバイオプシイ	200件

10 カンファランス症例

術前カンファランス	280件
治療カンファランス	350件

4. 事業計画・来年の目標等

臨床腫瘍科と共同で、外来化学療法センターの更なる拡充を図る。

既存の診療科やコメディカルとの協力をさらに進め、乳癌のチーム医療の確立を図る。

病診連携クリニカルパスを作成し、県内外の医療機関と病診連携を進める。

5 放射線療法症例・数 (入院)

乳癌	10件 (入院)
	200件 (外来)

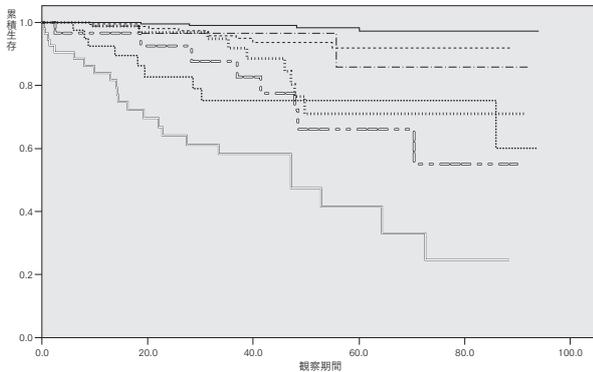
6 その他の治療症例・数 (外来)

乳癌に対するホルモン療法：700件

7 クリニカルインディケーター

(1) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

7-1 乳癌



stage0 (--- : n=53)	5年生存率85.8%
stage I (---- : n=400)	5年生存率98.4%
stage II A (— : n=251)	5年生存率92.0%
stage II B (..... : n=108)	5年生存率71.0%
stage III A (°= : n=31)	5年生存率66.1%
stage III B (..... : n=41)	5年生存率75.1%
stage IV (— : n=57)	5年生存率41.7%

8 死亡症例

入院死亡数：9人
手術死亡数：0人
剖検数：0件 (剖検率 0%)

9 主な処置・検査

超音波検査 3,000件